

学生の確保の見通し等を記載した書類

目次

(1) 収容定員を変更する組織の概要.....	2
①収容定員を変更する組織の概要.....	2
②収容定員を変更する組織の特色.....	2
(2) 人材需要の社会的な動向等.....	2
①収容定員を変更する組織で養成する人材の全国的，地域的，社会的動向の分析.....	2
②中長期的な18歳人口等入学対象人口の全国的，地域的動向の分析.....	3
③収容定員を変更する組織の主な学生募集地域.....	4
④既設組織の定員充足の状況.....	4
(3) 学生確保の見通し.....	4
①学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果.....	4
②競合校の状況分析（立地条件，養成人材，教育内容と方法の類似性と定員充足状況）.....	5
③人材需要に関するアンケート調査等.....	5
(4) 収容定員を変更する組織の定員設定の理由.....	6

(1) 収容定員を変更する組織の概要

①収容定員を変更する組織の概要

収容定員を変更する組織	変更前 入学定員	増員	変更後 入学定員	所在地 (教育研究を行うキャンパス)
横浜国立大学 理工学部 数物・電子情報系学科	287名	23名	310名	神奈川県横浜市保土ヶ谷区 常盤台79-5
(うち情報工学教育プログラム)	(47名)	(23名)	(70名)	

※数物・電子情報系学科は、数理科学教育プログラム、物理工学教育プログラム、電子情報システム教育プログラム、情報工学教育プログラムの4教育プログラムで構成されている。

②収容定員を変更する組織の特色

数物・電子情報系学科は、現代数学をベースに数理科学、情報科学への展開を模索する数理科学教育プログラム、物理学をベースに宇宙や量子情報科学などを探究する物理工学教育プログラム、電気・電子・通信・情報の広範囲な分野を総合的に学ぶ電子情報システム教育プログラム、ソフトウェア、ネットワーク、セキュリティなどの情報技術の基礎と応用を学ぶ情報工学教育プログラム(以下、情報工学EP)の4つの教育プログラムから構成されている。

そのうち大学・高専機能強化支援事業によって収容定員を増やす教育プログラムである数物・電子情報系学科情報工学EPでは、情報学・情報工学の基礎から応用までを身につけ、自ら先端的な情報理論・処理方式・システムを創造して社会に貢献できる人材の育成を目標とし、情報工学、計算機科学、ソフトウェアシステムをベースにした教育により、社会・産業の基盤となる情報技術の基礎、応用、深化、革新を主導する総合能力をもった人材を養成する。

収容定員増に伴う教育課程の変更として、数物・電子情報系学科に「情報工学実習Ⅰ」や「先端情報工学ゼミナール」等を専門科目として新規に開講し、教育課程の充実を図る。また、これらの専門科目の拡充のために、数物・電子情報系学科に4名の新規教員を配置するとともに、データサイエンスやAIに関する研究教育が本学において幅広く実施されている状況を踏まえ、全学の教育課程に新たに設ける「情報系基盤科目群(仮称)」及び「情報系実践科目群(仮称)」では、新規科目を含む数物・電子情報系学科の一部開講科目を、各学部・大学院のポリシーに沿って全学に展開し、教育の質を維持しながら情報系教育のさらなる質の向上を図る。そのために全学経営的視点で教育戦略を遂行する「教育推進機構(仮称)」(令和6年度設置予定)により、当該科目に従事する新規採用教員を同機構にて一括管理し、学部・大学院を柔軟に担当できる体制をとる。

(2) 人材需要の社会的な動向等

①収容定員を変更する組織で養成する人材の全国的、地域的、社会的動向の分析

内閣府教育未来創造会議における「我が国の未来をけん引する大学等と社会の在り方について(第一次提言)」(令和4年5月10日)¹では、国際経営開発研究所の試算において我が国のデジ

¹ 内閣府教育未来創造会議 「我が国の未来をけん引する大学等と社会の在り方について(第一次提言)」

<https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/kyouikumirai/teigen.html>

タル競争力は、先進諸国の中で 28 位と低迷している。また、「IT 人材需給に関する調査報告書」(経済産業省)によると、従来からの IT 需要に対応する人材(従来型 IT 人材)と、先端 IT 技術等に関連する市場を担う人材(先端 IT 人材)の新卒 IT 人材の供給や、従来型 IT 人材から先端 IT 人材へのスキル転換を踏まえた試算によって、2030 年には従来型 IT 人材が需要よりも 9.7 万人供給が多くなる一方で、先端 IT 人材が 54.5 万人不足するとされている(【資料 1】)。

これに対して、内閣官房の「デジタル田園都市国家構想」²では、専門的なデジタル知識・能力を有し、デジタル実装による地域の課題解決をけん引する人材である「デジタル推進人材」を 2026 年度までに 230 万人育成する目標が示されている。神奈川県においては ICT 及びデータを積極的に利活用するための「かながわ ICT・データ利活用推進計画」³を令和元年に策定し、くらしの情報化と行政の情報化を進めている。また、「神奈川県デジタル人材育成方針」⁴を令和 4 年に策定し、デジタル人材としての職員等育成に力を注いでいる。横浜市では、「横浜 DX 戦略」⁵を令和 4 年に策定し、行政サービスの充実、市民の自由なワークスタイルの実現、オープンイノベーションの仕組みづくりといった重点方針に従い、DX を推進している。

本学では、これまでも地域における情報系人材の需要に対して専門的な知識・能力を有する高度情報専門人材の育成や、自治体や企業との共同研究や連携講座、包括連携を進めているが、上記の社会的なニーズの高まりに対して、さらに多くの高度情報専門人材を輩出するための情報系教育の量的・質的な強化、具体的には収容定員増が必要であるという認識に至っている。

②中長期的な 18 歳人口等入学対象人口の全国的、地域的動向の分析

リクルート進学総研の 18 歳人口予測によると 2022 年から 2034 年の 10 年間で全国の 18 歳人口は 10.3%減少し、89.7%になると試算されている(【資料 2】)。しかしながら南関東(東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県)では 96.5%を維持し、減少率は全国で最も低い。ここで令和 5 年度一般選抜前期日程・後期日程志願者の出身都道府県を見ると(【資料 3】)、南関東出身者の割合は数物・電子情報系学科では全体の 71.9%(情報工学 EP では全体の 79%)となっている。また、南関東の進学率は全国で最も高い 64.1%であり、2013 年の 56.0%から増加傾向にある(【資料 4】)。以上により、全国に比べて 18 歳人口の減少が限定的であることと進学率の増加も勘案すると、今後の数物・電子情報系学科の志願者数は大きく減少することなく推移することが予想される。後述のとおり、増員後に予想される数物・電子情報系学科の志願者倍率は、前期日程で 3.5 倍、後期日程で 9.5 倍(情報工学 EP の志願者倍率は、前期日程で 3.6 倍、後期日程で 15.8 倍)であることから、人口減少の影響を加味しても十分に定員が確保できると判断する。

² 内閣官房「デジタル田園都市国家構想」

<https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/digitaldenen/about/index.html>

³ かながわ ICT・データ利活用推進計画

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/b8k/keikaku/index.html>

⁴ 神奈川県デジタル人材育成方針

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/fz7/jinzai/2022jinzai.html>

⁵ 「横浜 DX 戦略」

<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/gyosei-kansa/yokohamadx/dx-strategy/dx-strategy.html>

③収容定員を変更する組織の主な学生募集地域

【資料5】に、学校基本調査の令和4年度「出身高校の所在地県別 入学者数」のデータに基づき神奈川県内の大学への入学者の出身高校の所在地上位4都道府県を示す。上位4都道府県は神奈川県、東京都、千葉県、埼玉県であり、これら南関東の高校出身者が全体の約7割を占める。加えて、令和5年度入試前期日程・後期日程志願者の出身都道府県を見ると(【資料3】)、南関東出身者の割合は数物・電子情報系学科では全体の71.9%(情報工学EPでは全体の79%)となっている。これらのデータにより、本学では東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県の南関東からの出身者が大半を占めると見込まれる。

④既設組織の定員充足の状況

数物・電子情報系学科の過去7年間の一般選抜の入学志願状況を【資料6】に示す。数物・電子情報系学科の志願者倍率(=志願者数/募集人員)は前期日程において平均3.18倍、後期日程で平均8.43倍と高く、また、その中でも数物・電子情報系学科情報工学EPは前期日程において平均4.47倍、後期日程で平均18.44倍と非常に高い状況が続いている。このように数物・電子情報系学科並びに数物・電子情報系学科情報工学EPの入学志願状況は極めて良好であることから、収容定員を増やし、高度情報専門人材を育成する体制を強化した場合も、引き続き高い志願者倍率が期待される。

(3) 学生確保の見通し

①学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果

ア 既設組織における取組とその目標

1. オープンキャンパス

本学では、コロナ禍以前は来場型(対面、予約なし)で、コロナ禍ではオンラインにて継続的にオープンキャンパスを実施してきた。さらに、令和4年度、令和5年度においては、来場型(対面、予約型)とオンライン、双方でのオープンキャンパスを実施している。【資料7】は、令和5年度の来場型オープンキャンパスにおける数物・電子情報系学科の説明会及び模擬講義の抽選予約者数(同伴者含まない)である。説明会及び模擬講義への参加希望者は650名(情報工学EPは300名)を超えており、変更後の入学定員310名(情報工学EPは70名)の2倍以上となっていることから、当該分野への高い関心が伺える。

2. 大学説明会・模擬講義

本学では、これまで対面、オンラインなど様々な方法で高等学校等への説明会、模擬講義を実施している(【資料7】)。数物・電子情報系学科情報工学EPに関しては、高等学校からの模擬講義の開催依頼が根強くあることから、コロナ禍による一時的な落ち込みがあるものの、開催数は増やしている。

イ 収容定員を変更する組織における取組とその目標

上記アに示したように、オープンキャンパス、大学説明会・模擬講義を学生募集のための有効なPR活動と位置付け、継続的に実施していく。

ウ 当該取組の実績の分析結果に基づく、収容定員を変更する組織での入学者の見込み数

【資料7】に示すように、本学の理工学部オープンキャンパスにおける数物・電子情報系学科の説明会及び模擬講義への抽選予約者は650名を超えており、変更後の入学定員の2倍以上となっていることから、当該分野への高い関心が伺える。(2)人材需要の社会的な動向等と相まって、高い入学希望者が見込まれる。

②競合校の状況分析（立地条件，養成人材，教育内容と方法の類似性と定員充足状況）

ア 競合校の選定理由と収容定員を変更する組織との比較分析，優位性

理工学部では学科単位ではなく教育プログラム（EP）単位で学生募集を行っているため、競合校については教育プログラム（EP）単位で分析を行った。令和5年度一般選抜における数物・電子情報系学科情報工学EP志願者の併願大学・学部の上位を【資料8】に示す。さらにこれらの併願大学・学部の中で情報工学EPに最も近いカリキュラムを有する学科等（情報系学科等）とその令和5年度入試の入学志望状況を【資料9】に示す。【資料9】のとおり、これらの競合大学の倍率は軒並み高倍率であり、入試方式によっては100倍を超える学科も少なくないことから、情報系学科等への受験生の高い関心が伺える。

イ 競合校の入学志願動向等

上記アで説明したとおり、情報工学EPと併願されることが多い他大学の情報系学科等においても高い志願者倍率となっている（【資料9】表9-1）。定員充足率においてもほとんどの情報系の学部又は学科で1.0を超えている。1.0に満たない1学科についても、充足率が低い学部・学科等はなく極めて1.0に近い値である（【資料9】表9-2）。また、地域における情報系人材への要請に対して専門的な知識・能力を有する高度情報専門人材の育成が益々望まれていることから、情報系教育へのニーズはさらに高まると予想され、定員充足はもちろんのこと、高い志願者倍率を維持できることが期待されるとともに入学者の確保が見込まれる。

ウ 学生納付金等の金額設定の理由

学生納付金は、入学料282,000円、授業料535,800円とする。この金額は、同分野を有する競合校と考えられる国立大学の工学、理学系の学生納付金と同額であり、妥当である。

③人材需要に関するアンケート調査等

1. 数物・電子情報系学科情報工学EP卒業生の進路

理工学部では、教育プログラム（EP）ごとに就職担当教員を配置し、学科単位ではなくEP単位で細やかな学生指導や進路実績の分析を行っている。ついては、特に情報系人材育成の中心となる数物・電子情報系学科情報工学EPの卒業生の進路を【資料10】に示す。卒業生のうち70.3%は本学の大学院環境情報学府情報環境専攻博士課程前期（以降、情報環境専攻）へ進学していることから、情報工学EPが輩出する人材への社会的な需要や要請を把握するためには、情報環境専攻における求人状況と就職状況を含めて分析する必要がある。

情報工学EP及び情報環境専攻の就職担当教員に届いた求人状況を【資料11】に示す。前述のと

おり、情報工学 EP の卒業生の 70.3%が情報環境専攻に進学することから、企業の求人も学部卒、大学院卒を併せて行われることが多い。そのため、企業からの求人は学部と大学院で一括して受け付けている。情報工学 EP の就職者は例年約 10 名、情報環境専攻は約 48 名であるのに対して、求人申し込みは平均 236 社となっており、4 倍という多くの求人申し込みが届いており、情報工学 EP と情報環境専攻の輩出する人材への高いニーズが示されている。また、求人申し込みのあった企業の業種は多岐にわたっており(【資料 12】)、幅広い業種での需要が伺える。

加えて、求人情報を学部・大学院を通さずに大学に直接送付するシステムであるキャリアタス UC に登録された、数物・電子情報系学科の卒業生が応募可能な求人の状況を【資料 13】に示す。例年 8,000 社以上から 8,600 人~16,000 人の求人があり(業種の重複あり)、幅広い業種において情報工学 EP の学生への需要があることが分かる。

2. 人材需要に関する企業アンケート

情報工学 EP の卒業生の主要な進学先である本学の大学院環境情報学府では、平成 30 年、令和 2 年、令和 4 年に、情報環境専攻を含む 3 専攻について、IT・ソフトウェアをはじめ、自動車、通信、電気、建築など、幅広い業界の企業の採用担当者に当該学府の人材育成に関するアンケート(カリキュラム等含む)を行っている(【資料 14】、【資料 15】)。その結果、情報環境専攻が育成する人材は平成 30 年の調査で 84.6%、令和 2 年、令和 4 年の調査では 100%の企業から「必要である」との回答を得ており、非常に高い人材需要が示されている。

(4) 収容定員を変更する組織の定員設定の理由

1. (2) で分析した課題に対して収容定員を増加する学科等がどのように貢献できるのか

高度情報専門人材への高まるニーズに対して、数物・電子情報系学科の入学定員を増やすことで、本学の高度情報専門人材育成能力を向上させ、地域や社会の要請に応える。

2. 定員設定の理由

将来の 18 歳人口の減少と進学率の増加の両方を勘案すると、今後の数物・電子情報系学科の志願者数は大きく減少することなく推移することが予想される。特に情報系人材の育成のために、理工学部設置以来、突出して高い状態が続く志願者倍率に応える大幅な入学定員増が求められる一方、施設や人的資源のキャパシティを勘案し、数物・電子情報系学科の入学定員を 23 名増(情報工学 EP では定員の 1.5 倍増(47 名→70 名))とした。なお、「IT 人材需給に関する調査」(経済産業省)では、企業向けアンケート結果を基にした試算として IT 人材全体数の需要が 2018 年度から 2030 年度にかけて、125 万人から 192 万人(53%増)にまで拡大する見通しが示されている。

(【資料 16】)

数物・電子情報系学科の入学定員を 23 名増(情報工学 EP では定員の 1.5 倍増)とした後に予想される志願者倍率は、前期日程で 3.5 倍、後期日程で 9.5 倍(情報工学 EP の志願者倍率は、前期日程で 3.6 倍、後期日程で 15.8 倍)と引き続き高く、人口減少の影響を加味しても十分に定員が確保できる定員設定と考える。この志願者倍率は、志願者数を令和 5 年度の実績値のまま、今回予定している入学定員の 23 名増を前期日程は 15 名、後期日程は 8 名として振り分けて試算したものであるため、志願者数の増減は考慮していない。

3. 今、学科等の収容定員を増加しなければならない理由

「IT 人材需給に関する調査報告書」（経済産業省）によると、従来からの IT 需要に対応する人材（従来型 IT 人材）と、先端 IT 技術等に関連する市場を担う人材（先端 IT 人材）の新卒 IT 人材の供給や、従来型 IT 人材から先端 IT 人材へのスキル転換を踏まえた試算によって、2030 年には従来型 IT 人材が需要よりも 9.7 万人供給が多くなる一方で、先端 IT 人材が 54.5 万人不足するとされており（【資料 1】）、高度情報専門人材への要請が極めて高くなっている。数物・電子情報系学科の中でも情報工学 EP は一般選抜においても志願者倍率が突出して高く、また、卒業生への求人状況や就職先企業のアンケートからも社会、地域からの情報工学 EP の輩出する人材への強いニーズが確認できる。これらの要請に応えるために、数物・電子情報系学科の定員増を速やかに行い、本学の情報学教育を強化することが求められる。

学生の確保の見通し等を記載した書類（資料）

目次

【資料 1】 2030 年時点の先端 IT 人材・従来型 IT 人材の需要と供給の差(需給ギャップ)....	2
【資料 2】 18 歳人口予測（全体：エリア別：2022 年～2034 年）	2
【資料 3】 令和 5 年度一般選抜数物・電子情報系学科志願者のうち南関東出身者の割合	3
【資料 4】 大学進学率の推移	3
【資料 5】 収容定員を変更する組織が置かれる都道府県(神奈川県)への入学状況	4
【資料 6】 数物・電子情報系学科の一般選抜における入学志願状況	5
【資料 7】 数物・電子情報系学科におけるオープンキャンパス、大学説明会及び模擬講義の 実施状況.....	7
【資料 8】 令和 5 年度一般選抜 数物・電子情報系学科情報工学 EP 志願者の併願大学・学部	8
【資料 9】 数物・電子情報系学科情報工学 EP の併願大学の入試実施状況	9
【資料 10】 数物・電子情報系学科情報工学 EP 卒業生の進路	12
【資料 11】 数物・電子情報系学科情報工学 EP 及び情報環境専攻の就職担当教員宛ての求人 状況	12
【資料 12】 令和 5 年の数物・電子情報系学科情報工学 EP 及び情報環境専攻の就職担当教員 宛求人業種内訳.....	13
【資料 13】 求人票配信サービスの登録状況.....	14
【資料 14】 大学院環境情報学府の人材育成と人材需要に関する企業アンケート結果.....	15
【資料 15】 表 14-1 の企業アンケートに回答した企業の業界内訳.....	16
【資料 16】 IT 人材需要の見通し.....	16

【資料 1】 2030 年時点の先端 IT 人材・従来型 IT 人材の需要と供給の差(需給ギャップ)

表 1-1

IT 需要の 伸び	生産性の 上昇率 <small>※需給ギャップゼロ</small>	Re スキル率						IT 人材全体
		1.0%固定		2.0%固定		IT 需要連動		
		先端 IT 人材	従来型 IT 人材	先端 IT 人材	従来型 IT 人材	先端 IT 人材	従来型 IT 人材	
1% (低位)	0.7%	38.4 万人	△22.0 万人	28.8 万人	△12.4 万人	10.7 万人	5.7 万人	16.4 万人
	2.4%	25.0 万人	△32.2 万人	15.4 万人	△22.6 万人	△2.6 万人	△4.6 万人	△7.2 万人
	※1.84%	29.1 万人	△29.1 万人	19.5 万人	△19.5 万人	1.4 万人	△1.4 万人	0 万人
2~5% (中位)	0.7%	54.5 万人	△9.7 万人	44.9 万人	0.0 万人	26.9 万人	18.0 万人	44.9 万人
	2.4%	38.2 万人	△22.1 万人	28.6 万人	△12.5 万人	10.6 万人	5.5 万人	16.1 万人
	※3.54%	29.1 万人	△29.1 万人	19.5 万人	19.5 万人	1.4 万人	△1.4 万人	0 万人
3~9% (高位)	0.7%	73.7 万人	5.0 万人	64.1 万人	14.6 万人	46.0 万人	32.7 万人	78.7 万人
	2.4%	53.9 万人	△10.1 万人	44.3 万人	△0.5 万人	26.2 万人	17.5 万人	43.8 万人
	※5.23%	29.1 万人	△29.1 万人	19.5 万人	19.5 万人	1.4 万人	△1.4 万人	0 万人

(注 1) ※は、2030 年時点で IT 人材の需給ギャップをゼロにするための生産性の上昇率
 (注 2) 需給ギャップに関しては、無印：需要数>供給数、△：供給数>需要数

出典：経済産業省「IT 人材需給に関する調査報告書」(平成 31 年 3 月)

https://www.meti.go.jp/policy/it_policy/jinzai/houkokusyo.pdf

【資料 2】 18 歳人口予測 (全体：エリア別：2022 年~2034 年)

表 2-1

		2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	2032年	2033年	2034年
全体計	人数	1,121,285	1,097,416	1,063,451	1,090,562	1,092,647	1,084,271	1,068,477	1,068,876	1,050,143	1,034,714	1,023,592	1,013,581	1,005,782
	指数	100.0	97.9	94.8	97.3	97.4	96.7	95.3	95.3	93.7	92.3	91.3	90.4	89.7
北海道	人数	44,276	42,489	41,008	41,857	41,166	41,045	40,121	40,037	39,230	38,255	37,984	36,989	36,601
	指数	100.0	96.0	92.6	94.5	93.0	92.7	90.6	90.4	88.6	86.4	85.8	83.5	82.7
東北	人数	78,146	75,379	71,820	73,013	72,013	70,749	68,816	68,461	66,576	65,266	65,444	63,794	63,247
	指数	100.0	96.5	91.9	93.4	92.2	90.5	88.1	87.6	85.2	83.5	83.7	81.6	80.9
北関東	人数	63,720	61,863	59,826	60,700	60,209	59,436	58,597	57,094	55,597	54,919	53,598	53,611	52,331
	指数	100.0	97.1	93.9	95.3	94.5	93.3	92.0	89.6	87.3	86.2	84.1	84.1	82.1
南関東	人数	299,356	294,497	287,188	296,737	299,307	297,845	296,090	295,868	290,004	289,532	288,232	290,267	288,970
	指数	100.0	98.4	95.9	99.1	100.0	99.5	98.9	98.8	96.9	96.7	96.3	97.0	96.5
甲信越	人数	46,907	45,536	44,069	44,788	44,075	43,470	42,033	42,422	41,416	40,263	39,768	39,150	38,628
	指数	100.0	97.1	93.9	95.5	94.0	92.7	89.6	90.4	88.3	85.8	84.8	83.5	82.4
北陸	人数	27,545	26,692	26,002	26,197	26,268	25,761	25,131	24,428	24,501	23,757	23,588	22,974	22,842
	指数	100.0	96.9	94.4	95.1	95.4	93.5	91.2	88.7	88.9	86.2	85.6	83.4	82.9
東海	人数	140,510	138,309	133,555	137,302	137,529	136,069	134,013	134,491	132,337	129,727	126,930	124,204	124,083
	指数	100.0	98.4	95.1	97.7	97.9	96.8	95.4	95.7	94.2	92.3	90.3	88.4	88.3
近畿	人数	185,626	181,639	175,609	179,388	179,313	178,046	174,431	174,633	172,217	168,955	165,722	164,183	162,668
	指数	100.0	97.9	94.6	96.6	96.6	95.9	94.0	94.1	92.8	91.0	89.3	88.4	87.6
中国	人数	66,821	65,318	63,279	64,828	65,075	63,981	63,747	64,054	62,988	61,849	61,110	59,931	59,298
	指数	100.0	97.8	94.7	97.0	97.4	95.7	95.4	95.9	94.3	92.6	91.5	89.7	88.7
四国	人数	33,841	32,825	31,419	32,132	31,757	31,685	31,073	30,944	30,731	29,957	29,437	28,906	28,242
	指数	100.0	97.0	92.8	94.9	93.8	93.6	91.8	91.4	90.8	88.5	87.0	85.4	83.5
九州沖縄	人数	134,537	132,869	129,676	133,620	135,935	136,184	134,425	136,444	134,546	132,234	131,779	129,572	128,872
	指数	100.0	98.8	96.4	99.3	101.0	101.2	99.9	101.4	100.0	98.3	98.0	96.3	95.8

出典：リクルート進学総研 18 歳人口予測 大学・短期大学・専門学校進学率 地元残留率の動向

https://souken.shingakunet.com/research/pdf/202302_souken_report.pdf

【資料 3】 令和 5 年度一般選抜数物・電子情報系学科志願者のうち南関東出身者の割合

表 3-1

出身	数物・電子情報系学科	情報工学 EP
神奈川県	671 (37.1%)	252 (45.2%)
東京都	462 (25.6%)	159 (28.5%)
千葉県	65 (3.6%)	15 (2.7%)
埼玉県	102 (5.6%)	14 (2.5%)
南関東(東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県)	1,300 (71.9%)	440 (79.0%)
合計	1,807 (100%)	557 (100%)
全体	1,807 (100%)	557 (100%)

【資料 4】 大学進学率の推移

図 4-1

※注 () 内は指数 = 2013年を100として算出
 大学：現役進学率 (%)

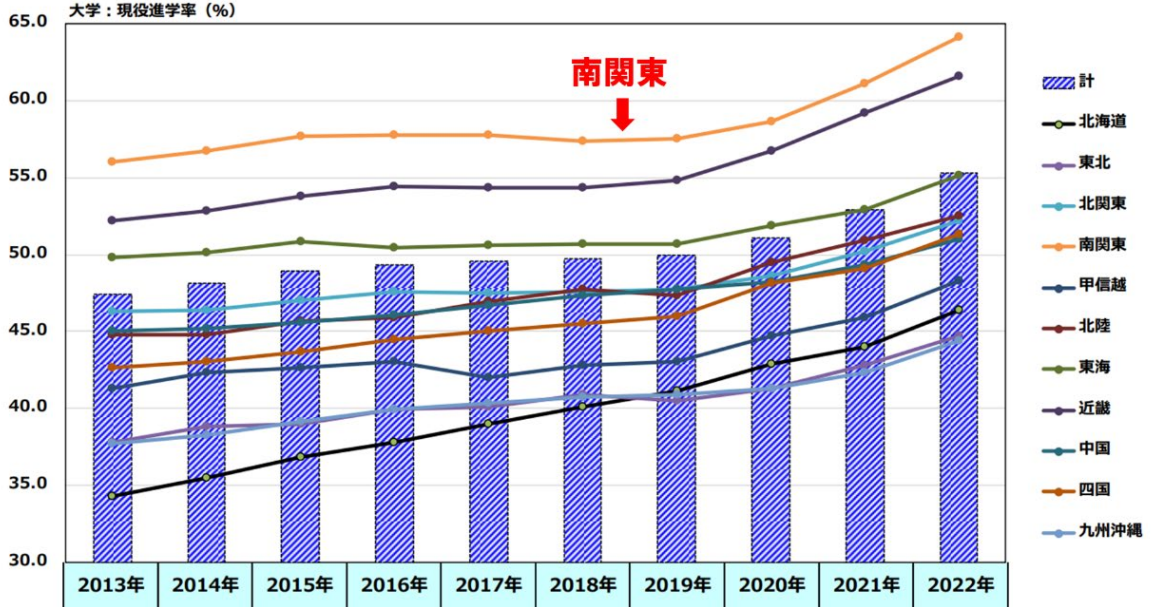


図 4-2 (図 4-1 の数値データ)

		2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
計	進学率	47.4	48.1	48.9	49.3	49.6	49.7	50.0	51.1	52.9	55.3
	指数	100.0	101.5	103.2	104.0	104.6	104.9	105.5	107.8	111.6	116.7
北海道	進学率	34.3	35.5	36.8	37.8	39.0	40.1	41.1	42.9	44.0	46.4
	指数	100.0	103.5	107.3	110.2	113.7	116.9	119.8	125.1	128.3	135.3
東北	進学率	37.8	38.8	39.0	39.9	40.1	40.9	40.5	41.3	42.8	44.7
	指数	100.0	102.6	103.2	105.6	106.1	108.2	107.1	109.3	113.2	118.3
北関東	進学率	46.3	46.4	47.0	47.6	47.5	47.6	47.7	48.6	50.2	52.2
	指数	100.0	100.2	101.5	102.8	102.6	102.8	103.0	105.0	108.4	112.7
南関東	進学率	56.0	56.7	57.7	57.8	57.8	57.4	57.5	58.6	61.1	64.1
	指数	100.0	101.3	103.0	103.2	103.2	102.5	102.7	104.6	109.1	114.5
甲信越	進学率	41.3	42.3	42.6	43.0	42.0	42.8	43.0	44.7	45.9	48.3
	指数	100.0	102.4	103.1	104.1	101.7	103.6	104.1	108.2	111.1	116.9
北陸	進学率	44.8	44.8	45.7	45.9	46.9	47.7	47.3	49.5	50.9	52.5
	指数	100.0	100.0	102.0	102.5	104.7	106.5	105.6	110.5	113.6	117.2
東海	進学率	49.8	50.1	50.8	50.4	50.6	50.7	50.7	51.9	52.9	55.1
	指数	100.0	100.6	102.0	101.2	101.6	101.8	101.8	104.2	106.2	110.6
近畿	進学率	52.2	52.8	53.8	54.4	54.3	54.3	54.8	56.7	59.2	61.6
	指数	100.0	101.1	103.1	104.2	104.0	104.0	105.0	108.6	113.4	118.0
中国	進学率	45.0	45.2	45.6	46.1	46.7	47.3	47.7	48.2	49.3	51.0
	指数	100.0	100.4	101.3	102.4	103.8	105.1	106.0	107.1	109.6	113.3
四国	進学率	42.6	43.0	43.7	44.5	45.0	45.5	46.0	48.1	49.1	51.3
	指数	100.0	100.9	102.6	104.5	105.6	106.8	108.0	112.9	115.3	120.4
九州沖縄	進学率	37.7	38.3	39.1	39.9	40.3	40.7	40.9	41.3	42.3	44.4
	指数	100.0	101.6	103.7	105.8	106.9	108.0	108.5	109.5	112.2	117.8

出典：リクルート進学総研 18 歳人口予測 大学・短期大学・専門学校進学率 地元残留率の動向
https://souken.shingakunet.com/research/pdf/202302_souken_report.pdf

【資料 5】 収容定員を変更する組織が置かれる都道府県(神奈川県)への入学状況

表 5-1

神奈川県	17,993 (37.9%)
東京都	10,283 (21.7%)
千葉県	2,263 (4.8%)
埼玉県	2,058 (4.3%)
南関東(東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県)合計	32,597 (68.7%)
全体	47,445 (100%)

データソース

学校基本調査 令和4年度 出身高校の所在地県別 入学者数

<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?tclass=000001159956&cycle=0>

【資料 6】数物・電子情報系学科の一般選抜における入学志願状況

表 6-1 数物・電子情報系学科の一般選抜における入学志願状況

年度	試験 日程	募集人員	志願者数	志願倍率	受験者数	受験倍率	合格者数	入学者数	定員 充足率
H29	前期	173	581	3.36	559	3.23	195	181	1.05
	後期	112	1,058	9.45	503	4.49	141	110	0.98
	合計	285	1,639	5.75	1,062	3.73	336	291	1.02
H30	前期	173	613	3.54	585	3.38	200	188	1.09
	後期	112	977	8.72	446	3.98	135	93	0.83
	合計	285	1,590	5.58	1,031	3.62	335	281	0.99
H31	前期	173	515	2.98	500	2.89	196	178	1.03
	後期	112	960	8.57	423	3.78	149	109	0.97
	合計	285	1,475	5.18	923	3.24	345	287	1.01
R2	前期	173	611	3.53	585	3.38	203	191	1.10
	後期	112	1,059	9.46	449	4.01	142	110	0.98
	合計	285	1,670	5.86	1,034	3.63	345	301	1.06
R3	前期	173	319	1.84	319	1.84	221	191	1.10
	後期	112	470	4.20	470	4.20	147	66	0.59
	合計	285	789	2.77	789	2.77	368	257	0.90
R4	前期	173	545	3.15	519	3.00	202	191	1.10
	後期	112	938	8.38	383	3.42	137	88	0.79
	合計	285	1,483	5.20	902	3.16	339	279	0.98
R5	前期	173	663	3.83	643	3.72	210	200	1.16
	後期	112	1,144	10.21	479	4.28	141	106	0.95
	合計	285	1,807	6.34	1,122	3.94	351	306	1.07
平均	前期	173	549.57	3.18	530	3.06	203.86	188.57	1.09
	後期	112	943.71	8.43	450.43	4.02	141.71	97.43	0.87

表 6-2 情報工学 EP の一般選抜における入学志願状況

年度	試験 日程	募集人員	志願者数	志願倍率	受験者数	受験倍率	合格者数	入学者数	定員 充足率
H29	前期	30	130	4.33	122	4.07	32	31	1.03
	後期	17	281	16.53	125	7.35	23	17	1.00
	合計	47	411	8.74	247	5.26	55	48	1.02
H30	前期	30	159	5.30	153	5.1	31	29	0.97
	後期	17	339	19.94	166	9.76	27	18	1.06
	合計	47	498	10.60	319	6.79	58	47	1.00
H31	前期	30	123	4.10	119	3.97	31	25	0.83
	後期	17	321	18.88	128	7.53	32	26	1.53
	合計	47	444	9.45	247	5.26	63	51	1.09
R2	前期	30	159	5.30	149	4.97	32	31	1.03
	後期	17	361	21.24	148	8.71	24	18	1.06
	合計	47	520	11.06	297	6.32	56	49	1.04
R3	前期	30	73	2.43	73	2.43	36	29	0.97
	後期	17	169	9.94	169	9.94	27	10	0.59
	合計	47	242	5.15	242	5.15	63	39	0.83
R4	前期	30	132	4.40	126	4.2	32	29	0.97
	後期	17	329	19.35	122	7.18	23	16	0.94
	合計	47	461	9.81	248	5.28	55	45	0.96
R5	前期	30	163	5.43	154	5.13	32	27	0.90
	後期	17	394	23.18	163	9.59	28	23	1.35
	合計	47	557	11.85	317	6.74	60	50	1.06
平均	前期	30	134.14	4.47	128.00	4.27	32.29	28.71	0.96
	後期	17	313.43	18.44	145.86	8.58	26.29	18.29	1.08

志願者倍率＝志願者数／募集人員

受験者倍率＝受験者数／募集人員

定員充足率＝入学者数／募集人員

注：R3年度はコロナ禍で個別試験を実施していない。

【資料 7】数物・電子情報系学科におけるオープンキャンパス、大学説明会及び模擬講義の実施状況

表 7-1 令和 5 年度オープンキャンパスにおける説明会及び模擬講義の抽選予約者数

	説明会	模擬講義
数物・電子情報系学科	707 名	671 名
情報工学 EP	302 名	305 名

(同伴者を含まない)

表 7-2 大学説明会、模擬講義の実施状況(オープンキャンパスを除く)

	R1	R2	R3	R4	R5
大学説明会	45	5	19	51	35
情報工学 EP 教員による模擬講義	2	1	0	2	4

【資料 8】 令和 5 年度一般選抜 数物・電子情報系学科情報工学 EP 志願者の併願大学・学部

(出典) 大学作成資料

(その他の説明)

令和 5 年度一般選抜における数物・電子情報系学科情報工学 EP 志願者の併願大学・学部について、志願者数が多い併願大学・学部から順に示した資料。

【資料 9】 数物・電子情報系学科情報工学 EP の併願大学の入試実施状況

表 9-1 情報工学 EP の併願大学の情報系学科と令和 5 年度入試の入学志願状況

(出典) 以下に基づく大学作成資料

東進ハイスクール <https://www.toshin.com/examinee/>

(その他の説明)

数物・電子情報系学科情報工学 EP 志願者の併願大学・学部について、情報工学 EP に最も近いカリキュラムを有する学科等とその令和 5 年度入試の入学志願状況（募集人数、志願者数、倍率）を示した資料。

表 9-2 数物・電子情報系学科情報工学 EP の併願大学の情報系学科の定員充足率

(出典) 大学作成資料

(その他の説明)

数物・電子情報系学科情報工学 EP 志願者の併願大学・学部について、入学定員、入学者数、定員充足率を示した資料。

【資料 10】数物・電子情報系学科情報工学 EP 卒業生の進路

表 10-1 数物・電子情報系学科情報工学 EP 卒業生の進路

	H30	R1	R2	R3	R4	平均
進学（情報環境専攻）	31	28	34	31	42	33.2(70.3%)
進学（他大学院）	2	2	1	2	1	1.6(3.4%)
就職	9	7	14	5	13	9.6(20.3%)
その他	1	2	4	4	3	2.8(5.9%)
合計	43	39	53	42	59	47.2(100.0%)

表 10-2 情報環境専攻博士課程前期修了生の進路

	H30	R1	R2	R3	R4	平均
進学	4	6	4	4	2	4.0(6.9%)
就職	44	46	50	44	57	48.2(83.4%)
その他	2	11	6	6	3	5.6(9.7%)
合計	50	63	60	54	62	57.8(100.0%)

【資料 11】数物・電子情報系学科情報工学 EP 及び情報環境専攻の就職担当教員宛ての求人状況

表 11-1

令和3年4月採用	令和4年4月採用	令和5年4月採用	令和6年4月採用	平均
242 社	231 社	245 社	227 社	236 社

【資料 12】 令和 5 年の数物・電子情報系学科情報工学 EP 及び情報環境専攻の就職担当教員宛求人業種内訳

(出典) 以下に基づく大学作成資料

業種: 帝国データバンク TDB 企業サーチ <https://www.tdb.co.jp/service/u/1000.jsp>

帝国データバンク産業分類 <https://www.tdb.co.jp/lineup/pdf/tic.pdf>

(その他の説明)

令和 5 年の数物・電子情報系学科情報工学 EP 及び情報環境専攻の就職担当教員宛に届いた求人について、企業の業種とその数を一覧として示した資料。

【資料 13】求人票配信サービスの登録状況

表 13-1 求人票配信サービス（キャリアタス UC）に登録した企業数

	令和元年 採用	令和 2 年 採用	令和 3 年 採用	令和 4 年 採用	令和 5 年 採用	令和 6 年 採用
情報環境専攻	5,267	5,872	6,373	6,535	7,806	8,911
数物・電子情報系学科	8,121	8,568	8,587	8,727	10,197	11,440

表 13-2 求人票配信サービス（キャリアタス UC）に登録された求人数

業種		令和元年 採用	令和 2 年 採用	令和 3 年 採用	令和 4 年 採用	令和 5 年 採用	令和 6 年 採用
ソフトウェア	情報環境専攻	807	685	540	755	1,759	1,403
	数物・電子情報系学科	1,158	953	765	917	1,998	1,618
福祉・介護事業	情報環境専攻	462	425	700	647	852	680
	数物・電子情報系学科	527	512	781	738	923	775
情報処理	情報環境専攻	498	400	336	436	646	789
	数物・電子情報系学科	677	517	429	544	780	929
一般（その他）サービス	情報環境専攻	231	190	418	239	414	478
	数物・電子情報系学科	297	271	480	317	520	639
建設	情報環境専攻	193	266	231	267	392	522
	数物・電子情報系学科	299	274	311	356	516	659
病院・診療所	情報環境専攻	115	169	189	274	320	328
	数物・電子情報系学科	179	199	233	334	394	401
官公庁（地方公務）	情報環境専攻	121	109	151	273	388	400
	数物・電子情報系学科	140	118	171	294	412	423
機械	情報環境専攻	80	120	147	148	244	336
	数物・電子情報系学科	209	230	236	289	438	467
設備	情報環境専攻	72	98	98	115	226	304

	数物・電子情報系学科	181	177	187	192	324	419
金属製品	情報環境専攻	66	80	144	128	216	225
	数物・電子情報系学科	144	139	186	192	289	305
人材紹介・人材派遣	情報環境専攻	122	86	82	141	222	281
	数物・電子情報系学科	162	115	107	173	265	343
不動産	情報環境専攻	117	99	80	126	195	174
	数物・電子情報系学科	165	110	82	262	450	200
その他商社	情報環境専攻	119	73	80	91	175	152
	数物・電子情報系学科	223	131	135	132	301	254
情報サービス	情報環境専攻	87	138	138	171	169	127
	数物・電子情報系学科	120	153	161	204	214	175
その他	情報環境専攻	3,438	3,326	3,725	4,331	6,164	6,429
	数物・電子情報系学科	5,141	4,715	4,851	5,571	7,893	8,242
合計	情報環境専攻	6,528	6,264	7,059	8,142	12,382	12,628
	数物・電子情報系学科	9,622	8,614	9,115	10,515	15,717	15,849

【資料 14】 大学院環境情報学府の人材育成と人材需要に関する企業アンケート結果

表 14-1

	H30	R2	R4
設問「御社にとってどの専攻で育成される人材が必要ですか」において「情報環境専攻」を選んだ企業	11 社 (84.6%)	16 社 (100%)	20 社 (100%)
回答社数	13 社	16 社	20 社

【資料 15】表 14-1 の企業アンケートに回答した企業の業界内訳

(出典) 以下に基づく大学作成資料

業種：帝国データバンク TDB 企業サーチ <https://www.tdb.co.jp/service/u/1000.jsp>

帝国データバンク産業分類 <https://www.tdb.co.jp/lineup/pdf/tic.pdf>

(その他の説明)

大学院環境情報学府において実施している人材育成と人材需要に関する企業アンケート結果を資料 14 として示しており、そのアンケートに回答した企業の業界内訳について示した資料。

【資料 16】IT 人材需要の見通し

表 16-1

	2018 年	2020 年	2025 年	2030 年	2030 年 (前回調査※)
高位 〔需要の伸び率 約 4.4%〕	125 万人	147 万人	169 万人	192 万人	165 万人
中位 〔需要の伸び率 約 2.7%〕		136 万人	147 万人	158 万人	144 万人
低位 〔需要の伸び率 約 1%〕		126 万人	128 万人	130 万人	127 万人

※前回調査：2016 年「IT 人材の最新動向と将来推計に関する調査結果」（経済産業省）

なお、前回調査における高位、中位、低位は、それぞれ伸び率が、2～4%、1.5～2.5%、1%であり、低位以外は今回と伸び率が異なるほか、生産性の上昇率について試算で考慮していない点に留意する必要がある。

出典：経済産業省「IT 人材需給に関する調査（概要）」（平成 31 年 4 月）

https://www.meti.go.jp/policy/it_policy/jinzai/gaiyou.pdf